

共に生きる

1 年学年通信 No.12

R4. 6. 15.

キャリア教育②

生き方いろいろ、十人十色

～生き方について考えよう～



キャリア教育の2 時間目、二人の人生に触れ、「生き方」について考えました。

一人目は、マラソンのオリンピックメダリストである有森裕子さん・高橋尚子さんなどを育てた監督・小出義雄さん。二人目は、保育士の仕事を退職した後、資格を取り、ヘルパーの仕事をしている山田るみさん（一般の方）です。

二人の生き方をどう思うか、二人が大切にしていたものは何かを考え、さらに、自分は人生の中でどんなことを大切にしたいか、将来、どのように生きていきたいかを考えました。

感想の一部を紹介します。

やっぱり自分が好きで、やって楽しいと思う仕事がしたいが、収入もしっかり入らないと生きていけないから、難しいところだ。やりたいことを「あきらめない」ことも大切だし、他の人のために「がんばる」ことも、すごく大事だと思う。だから、真剣に考えて将来のことを決めることが大事だと、改めて実感した。

この二人のように、自分に合った仕事を見つけ、充実した生活が送れたらいいなと思った。みんなの役に立つ仕事、自分が楽しいと思える仕事に就きたい。

自分はできれば自分の趣味や好きなことを職業にしたいと思う。そして「いつまでも続けられる仕事につけるといいかな？」と勝手に思っているけれど、世の中はそんなに甘いものじゃないからな～と、書きながら思った。

もし今の夢が叶わなくても、仕事の合間にできたらそれでいい。人を笑顔にしたり人の役に立つことができたりしたらいいな。

目標を持って一日一日を過ごしていきたい。みんなから評価されて、誰かに必要とされる人になりたい。仕事も大事だが、まずは最優先に、家族や友達を大切にしたい。お金も大事だが、暮らせる最低限のお金があればいいかな。

人と何か考え方が違って、自分のしていることに誇りを持って、堂々とやりたい。やりたいことが見つかるまで、人になんと言われようと、納得のいくものにしたい。



人生いろいろ。しっかりと考えて自分の道を選択し、

その道を素晴らしいものにしていけるといいですね。